

令和7年度 全国学力・学習状況調査の結果分析（中学校）について

【国語】

● 平均正答率

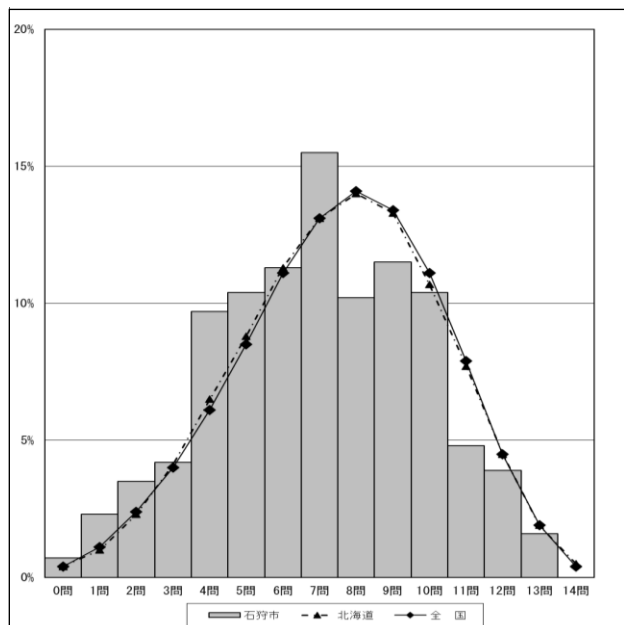
	平均正答数	平均正答率	石狩市（全国、全道との比較）
全国	7.6/14問	54.3%	やや低い （－3％以下～－5％未満）
全道	7.6/14問	54.0%	やや低い （－3％以下～－5％未満）

● 経年変化

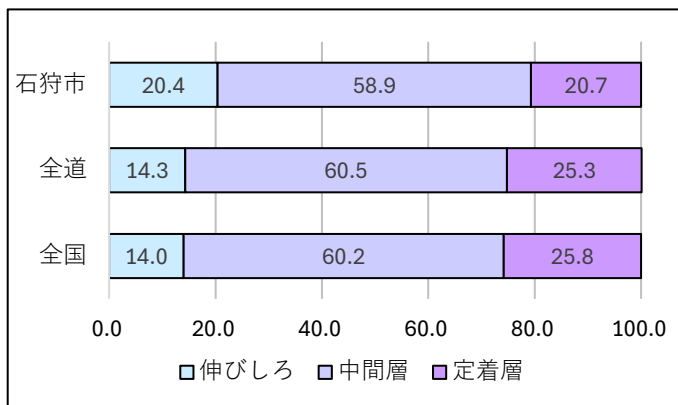


※全国平均を100とする

● 正答数分布



● 三層割合

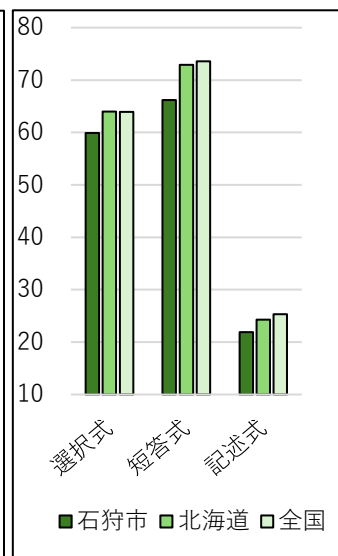
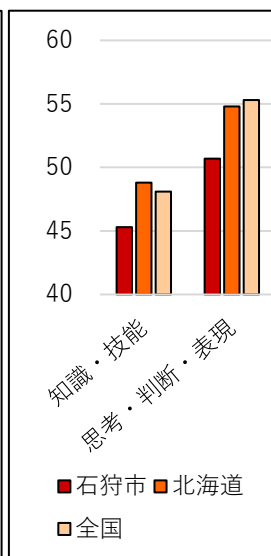
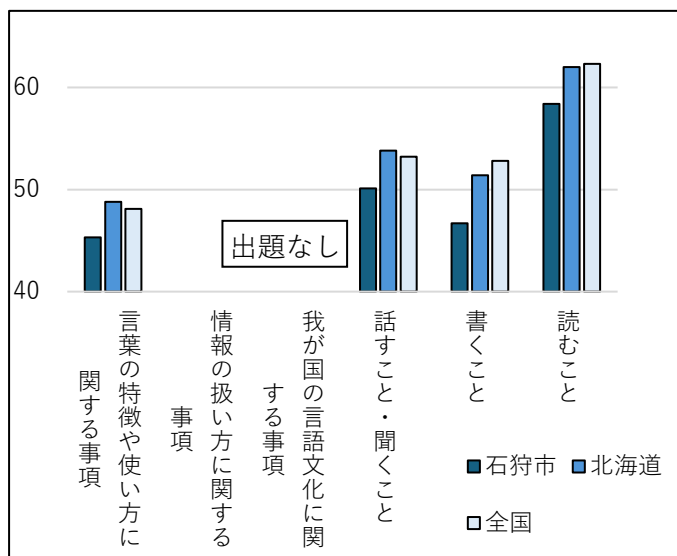


伸びしろ層：正答数 0～4 問

中間層：5～9 問

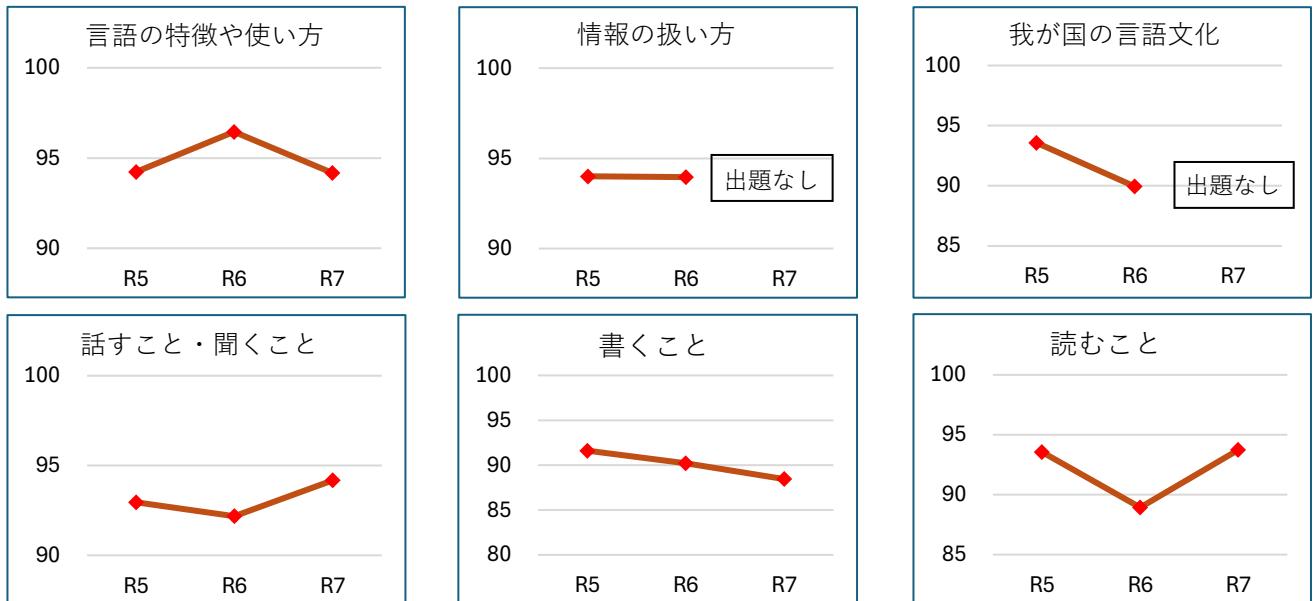
定着層：10～14 問

● 領域等、評価の観点、問題形式の平均正答率



● 領域等の経年変化

※全国平均を100とする



● 結果の概要

- ◇国語の正答率は全国、全道より、やや低い結果となりました。令和6年度との比較では、全国との差は同様の結果となりました。
- ◇領域別「知識及び技能」についての結果です。
 - 「言葉の特徴や使い方に関する事項」は全国とほぼ同様（下位）であり、全道よりやや低い
- ◇領域別「思考力、判断力、表現力等」についての結果です。
 - 「話すこと・聞くこと」は、全国、全道ともにやや低い
 - 「書くこと」は、全国より低く、全道よりやや低い
 - 「読むこと」は、全国、全道ともにやや低い
- ◇問題形式別の正答率では、「選択式」は全道・全国よりやや低い、「短答式」は全国より相当低く、全道よりも低い、「記述式」は全国よりやや低く、全道とほぼ同様（下位）の結果となりました。

● 調査問題の内容

学習指導要領に示されている〔知識及び技能〕、〔思考力、判断力、表現力等〕の内容に基づいて、その全体を視野に入れながら、中心的に取り上げるものを精選して出題されています。なお、中学校第2学年までの内容となっています。

（例）

- 文章中の事象や行為を表す語句の意味として適切なものを選択する。
- 発表の内容をより分かりやすく伝えるためのスライドの工夫について助言する。
- 手紙の下書きを修正し、修正した方がよいと考えた理由を書く。
- 物語の構成や展開による効果について、自分の考えを理由とともに書く。
- 問題数は14問です。

● 成果の見られる問題例

問題番号	問題の概要	出題の趣旨	領域	平均正答率%		
				石狩市	北海道	全国
2 三	「話の順序を入れ替えた方がよい」という助言の意図を説明したものと適切なものを選択する	自分の考えが明確になるように、論理の展開に注意して、話の構成を工夫することができるかどうかをみる	話すこと・聞くこと	71.4	73.7	73.4
3 二	「兄」と「弟」が、物語の中でどのような性格の人物として描かれているかを書く	文章全体と部分との関係に注意しながら、登場人物の設定の仕方を捉えることができるかどうかをみる	読むこと	85.7	90.5	89.9

● 全国平均と差がある問題例

問題番号	問題の概要	出題の趣旨	領域	平均正答率%		
				石狩市	全国	全国との差
1 二	ちらしに「会場図」を加えた目的を説明したものと適切なものを選択する	目的に応じて、集めた材料を整理し、伝えたいことを明確にすることができるかどうかをみる	書くこと	72.1	82.5	-10.4
4 一	手紙の下書きを見直し、誤って書かれている漢字を見付けて修正する	読み手の立場に立って、表記を確かめて、文章を整えることができるかどうかをみる	書くこと	46.7	57.3	-10.6

● 指導の改善

【問題番号 1 二 書くこと】

- 案内文など実用的な文章を書く際には、相手や目的に応じて材料を比較しながら、伝えるべき事柄を取捨選択するなど、集めた材料を整理して簡潔に分かりやすく書く必要があります。
- ・ 同じ行事を案内するウェブページとちらしについて、盛り込む内容を検討する学習活動ではウェブページとちらしを比較しながら、それぞれが想定する相手や目的などを具体的に考える必要な情報を取捨選択させることが大切です。

【問題番号 4 一 書くこと】

- 書いた文章を推敲する際には、伝えようとするものが伝わるように、読み手の立場に立って、文字や表記が正しいか、漢字と仮名の使い分けが適切かなどを確かめて文章を整えることが重要です。
- ・ 書いた文章を読み返す必然性がある言語活動を設定し、既習の事項を生かして文章を整えることができるように指導することが大切です。
- ・ 漢字を「文や文章の中で使う」際、誤って使った漢字を書きためておくことや、同音意義語など、意味や表記を間違えやすい漢字を日頃から意識して使う指導をすることも大切です。

● 国語に関する意識調査（生徒質問調査項目44～51、国1より）

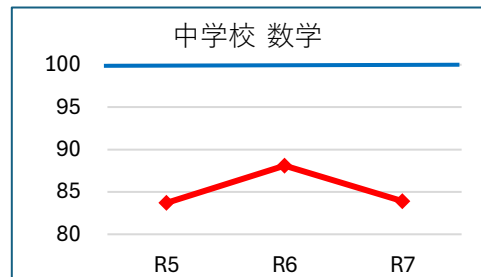
質問内容		肯定的な回答%		全国との差%
		石狩市	全国	
44	国語の勉強は得意ですか	58.1	51.4	6.7
45	国語の勉強は好きですか	60.3	57.9	2.4
46	国語の授業内容はよく分かりますか	76.1	77.0	-0.9
47	国語の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思いますか	92.0	88.3	3.7
48	国語の授業で、先生は、あなたの良いところや、前よりもできるようになったところはどこかを伝えますか	75.0	72.9	2.1
49	国語の授業で、先生は、あなたの学習のうまくできていないところはどこかを伝え、どうしたらうまくできるようになるかを教えてください	71.1	70.2	0.9
50	国語の授業で、文章を読み、その文章の構成や展開に、どのような効果があるのかについて、根拠を明確にして考えていますか	75.7	74.0	1.7
51	国語の授業で、文章を書いた後に、読み手の立場に立って読み直し、語句の選び方や使い方、文や段落の長さ、語順などが適切かどうかを確かめて文章を整えていますか	75.2	73.6	1.6
国1	今回の国語の問題について、解答を文章で書く問題がありましたが、どのように解答しましたか」について、「最後まで努力した」と回答	61.5	65.3	-3.8
	4問あった記述式問題の無解答率の平均	18.1	13.2	4.9

【数 学】

● 平均正答率

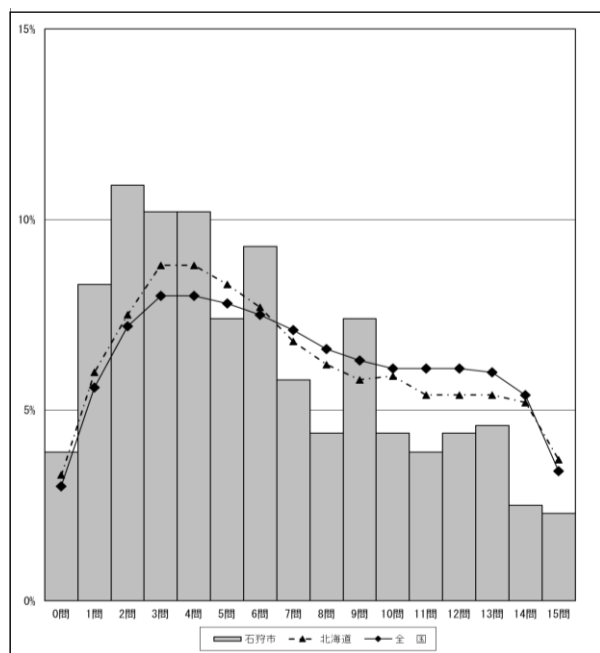
	平均正答数	平均正答率	石狩市（全国、全道との比較）
全国	7.2/15問	48.3%	相当低い （－7%以下）
全道	7.0/15問	46.7%	低い （－5%以下～－7%未満）

● 経年変化

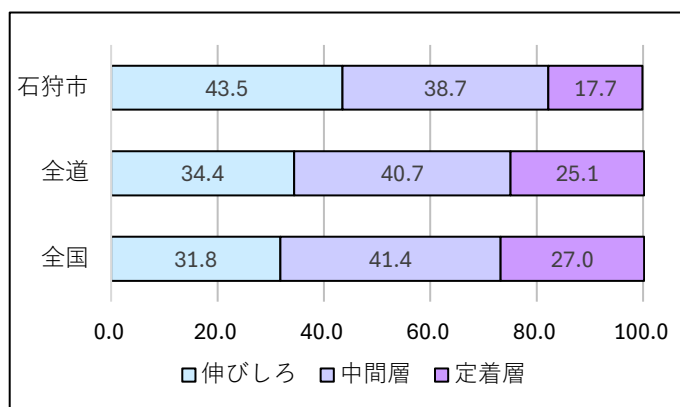


※全国平均を100とする

● 正答数分布

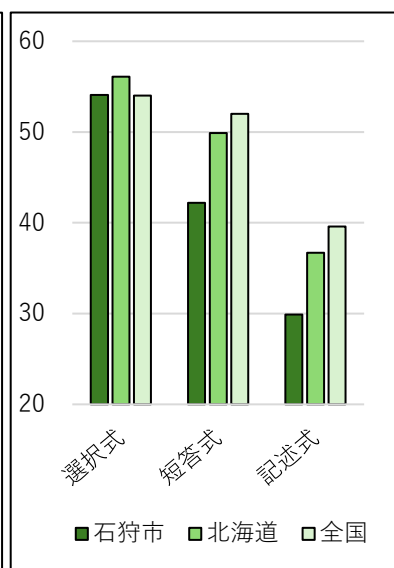
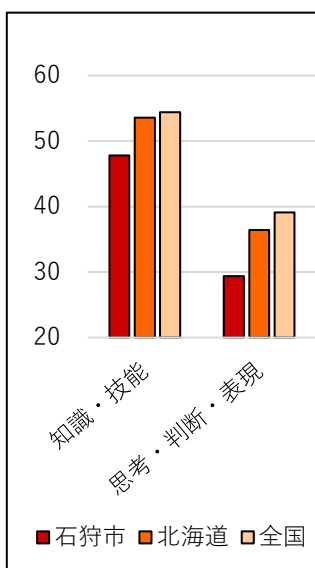
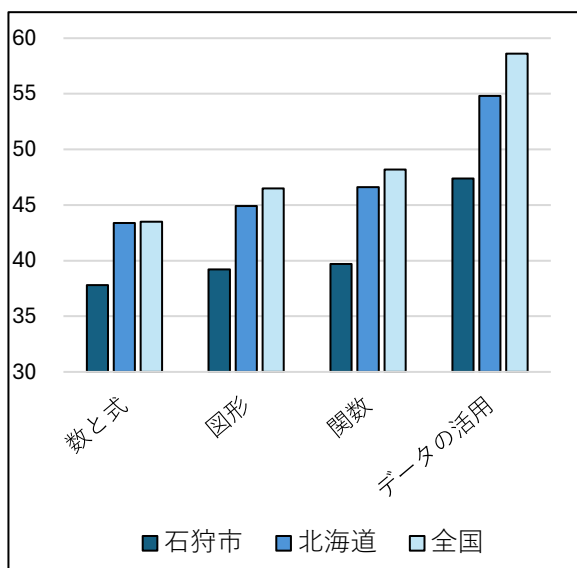


● 三層割合



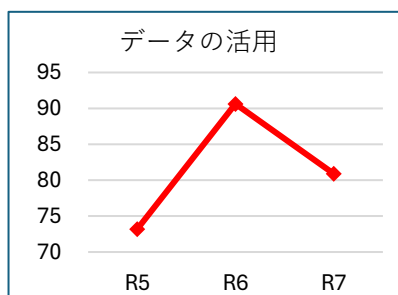
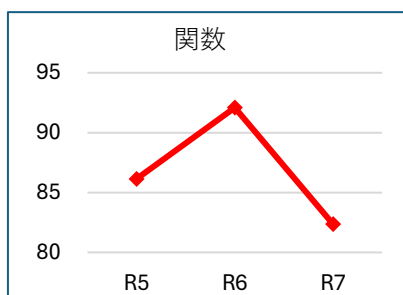
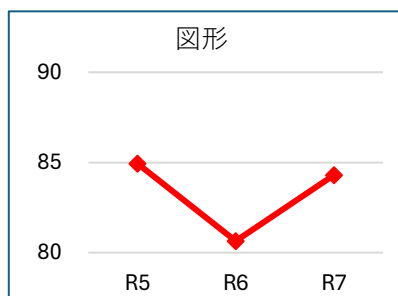
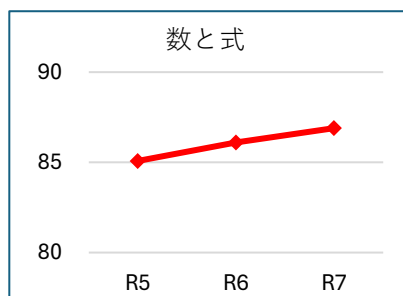
伸びしろ層：正答数0～4問
中間層：5～10問
定着層：11～15問

● 領域等、評価の観点、問題形式の平均正答率



● 領域等の経年変化

※全国平均を100とする



● 結果の概要

- ◇数学の平均正答率は、全国より相当低く、全道より低い結果でした。令和6年度との比較では、全国との差が広がりました。
- ◇領域別では、「数と式」では全国、全道より低く、「図形」と「関数」では、全国より相当低く全道より低い結果でした。また、「データの活用」では、全国、全道より相当低い結果でした。
- ◇問題形式の正答率では、「選択式」で全国と同様で、全道とほぼ同様（下位）、「短答式」では全国、全道より相当低い結果でした。また、「記述式」は全国より相当低く、全道より低い結果でした。

● 調査問題の内容

学習指導要領における、「数と式」、「図形」、「関数」、「データの活用」の各領域に示された指導内容をバランスよく出題しています。なお、中学校第2学年までの内容となっています。

(例)

- 一次関数 $y = 6x + 5$ について、 x の増加量が2のときの y の増加量を求める。
- 連続する三つの3の倍数の和が、9の倍数になることを説明する。
- Aの手元のカードが「グー」、「チョキ」、「パー」、「パー」の4枚、Bの手元のカードが「グー」、「チョキ」の2枚のとき、AとBの勝ちやすさについて確率を用いて説明する。
- A駅から60.0 km地点につくられる新しい駅までの運賃がおよそ何円になるかを求める方法を説明する。
- 平行四辺形になるための条件を用いて四角形が平行四辺形になることを証明する。
- 設問数は15問です。

● 成果の見られる問題例

問題番号	問題の概要	出題の趣旨	領域	平均正答率%		
				石狩市	北海道	全国
1	1 から 9 までの数の中から素数を全て選ぶ	素数の意味を理解しているかどうかをみる	数と式	42.4	40.5	31.8
8 (1)	A 駅からの走行距離と運賃の関係を表すグラフの何を読み取れば C 駅と D 駅間の走行距離が分かるかを選ぶ	事象に即して、グラフから必要な情報を読み取ることができるかどうかをみる	関数	68.8	70.5	71.9

● 全国平均と差がある問題例

問題番号	問題の概要	出題の趣旨	領域	平均正答率%		
				石狩市	全国	全国との差
2	果汁 40% の飲み物 a mL に含まれる果汁の量を、a を用いた式で表す	数量を文字を用いた式で表すことができるかどうかをみる	数と式	41.2	51.9	-10.7
4	一次関数 $y = 6x + 5$ について、x の増加量が 2 のときの y の増加量を求める	一次関数 $y = ax + b$ について、変化の割合を基に、x の増加量に対する y の増加量を求めることができるかどうかをみる	関数	21.5	34.7	-13.2
5	ある学級の生徒 40 人のハンドボール投げの記録をまとめた度数分布表から、20 m 以上 25 m 未満の階級の相対度数を求める	相対度数の意味を理解しているかどうかをみる	データの活用	26.4	42.5	-16.1
6 (3)	連続する三つの 3 の倍数の和が、9 の倍数になることの説明を完成する	目的に応じて式を変形したり、その意味を読み取ったりして、事柄が成り立つ理由を説明することができるかどうかをみる	数と式	27.1	45.2	-18.1

● 指導の改善

【問題番号 2 数と式】

- 事象における数量を捉え、数量を文字を用いた式で表すことができるように指導することが大切です。
- ・ 指導に当たっては、具体的な数や言葉を使った式などを利用して数量を捉えたり、表した数量が正しいかどうかを事象と関連付けて吟味したりする活動を取り入れることが大切です。

【問題番号 4 関数】

- 一次関数 $y = ax + b$ について、変化の割合を基に、 x の増加量に対する y の増加量を求めることができるように指導することが大切です。
- ・ 本問を使って授業を行う際には、まず、増加量や変化の割合の意味、一次関数の変化の割合が一定であることを確認した上で、一次関数 $y = 6x + 5$ において、 x の増加量が 2 のときの y の増加量を求める場面を設定することが考えられます。その際、 $y = 6x + 5$ の変化の割合は 6 で一定であり、変化の割合は y の増加量 / x の増加量 で求められることから、 x の増加量が 2 のときの y の増加量を求められるようにすることが大切です。

【問題番号 5 データの活用】

- ある階級の度数の総度数に対する割合を求めて、データの特徴を読み取る活動を通して、相対度数の必要性と意味を理解できるように指導することが大切です。
- ・ 本問を使って授業を行う際には、「各階級における生徒数の、学級の全生徒数に対する割合」を求め、データの分布の傾向を考察する場面を設定することが考えられます。その際、例えば、記録が 20 m 以上 25 m 未満の生徒の割合である 0.25 は、20 m 以上 25 m 未満の階級の相対度数であり、相対度数は、全体（総度数）に対する部分（各階級の度数）の割合を示す値であることを理解できるようにすることが大切です。

【問題番号 6 (3) 数と式】

- 事柄が一般的に成り立つ理由を、構想を立て、文字式や言葉を用いて根拠を明確にして説明できるように指導することが大切です。
- ・ 本設問を使って授業を行う際には、連続する三つの 3 の倍数を文字を用いて表して、その和を $9 \times (\text{整数})$ の形の式に変形すればよいという見通しをもち、計算結果を式変形して説明できるようにすることが大切です。

● 数学に関する意識調査（生徒質問調査項目52～59、数1より）

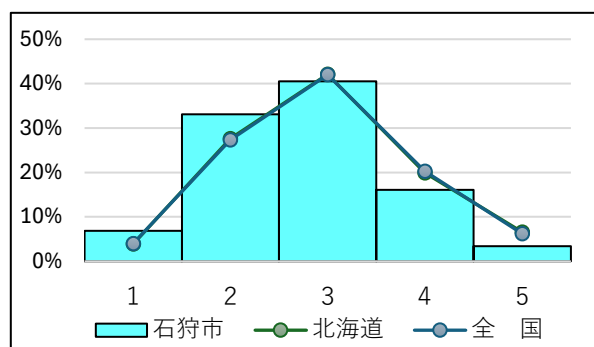
質問内容		肯定的な回答%		全国との差%
		石狩市	全国	
52	数学の勉強は得意ですか	39.2	46.0	-6.8
53	数学の勉強は好きですか	52.5	53.8	-1.3
54	数学の授業内容はよく分かりますか	62.6	70.3	-7.7
55	数学の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思いますか	68.1	75.2	-7.1
56	数学の授業で学習したことを、普段の生活の中で活用できないか考えますか	53.2	57.9	-4.7
57	数学の問題の解き方が分からない時は、あきらめずにいろいろな方法を考えますか	75.6	76.2	-0.6
58	数学の授業で、どのように考えたのかについて説明する活動をよく行っていますか	53.5	58.6	-5.1
59	文字式を用いた説明や図形の証明を読んで、かかれていることを理解することができますか	62.9	67.1	-4.2
数1	今回の数学の問題では、解答を言葉や数、式を使って説明する問題がありましたが、どのように解答しましたか」について、「最後まで努力した」と回答	51.7	54.9	-3.2
	5問あった記述式問題の無解答率の平均	30.4	22.8	7.6

【理 科】

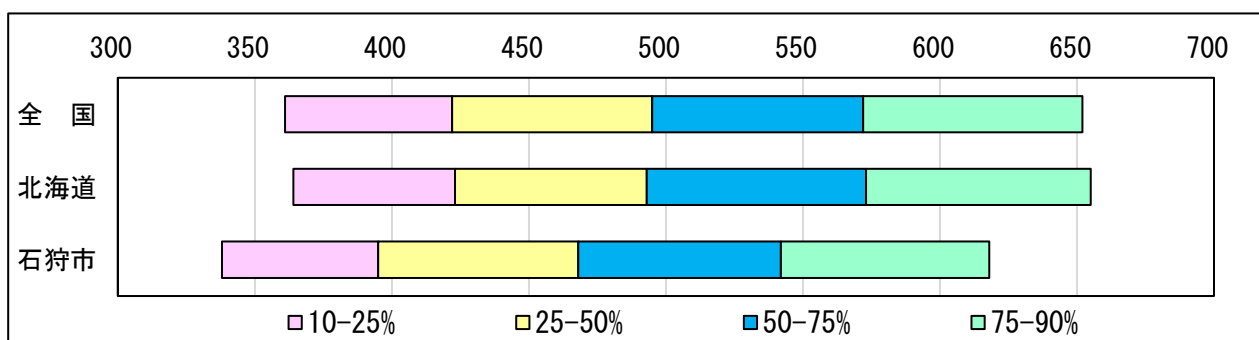
● 平均IRTスコア

	平均IRTスコア	石狩市（全国、全道との比較）
全国	503	低い (466以下475未満)
全道	505	低い (466以下475未満)

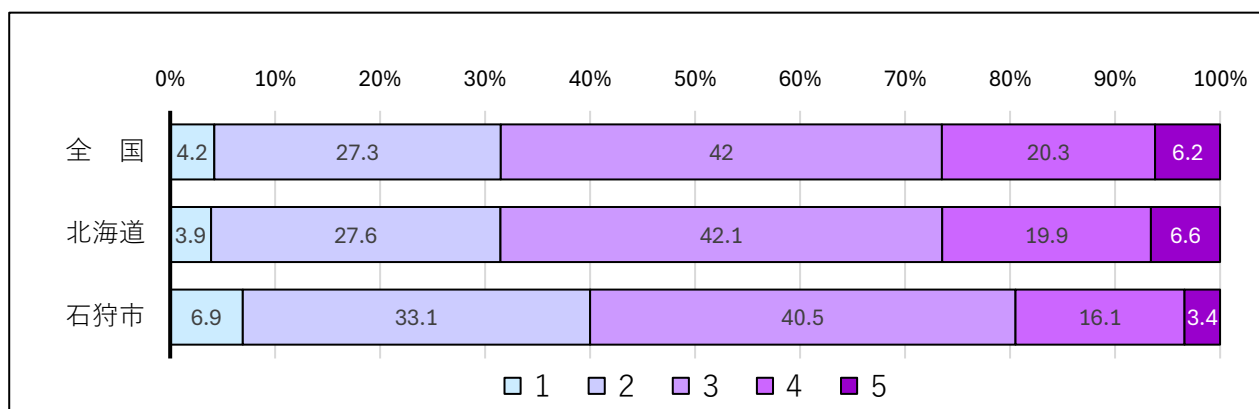
● IRTバンド分布グラフ



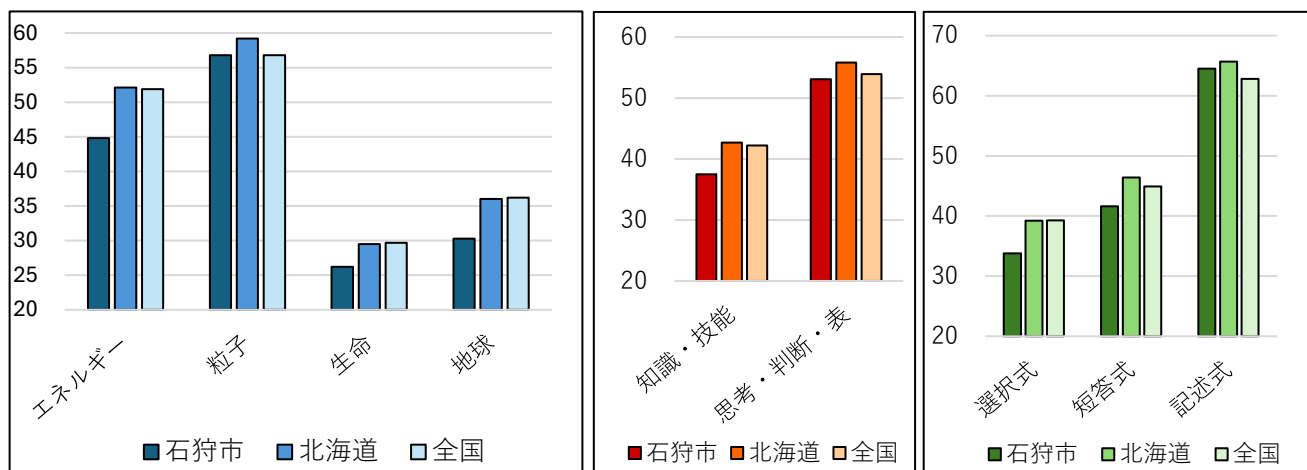
● IRTスコア分布グラフ



● IRTバンド分布比較

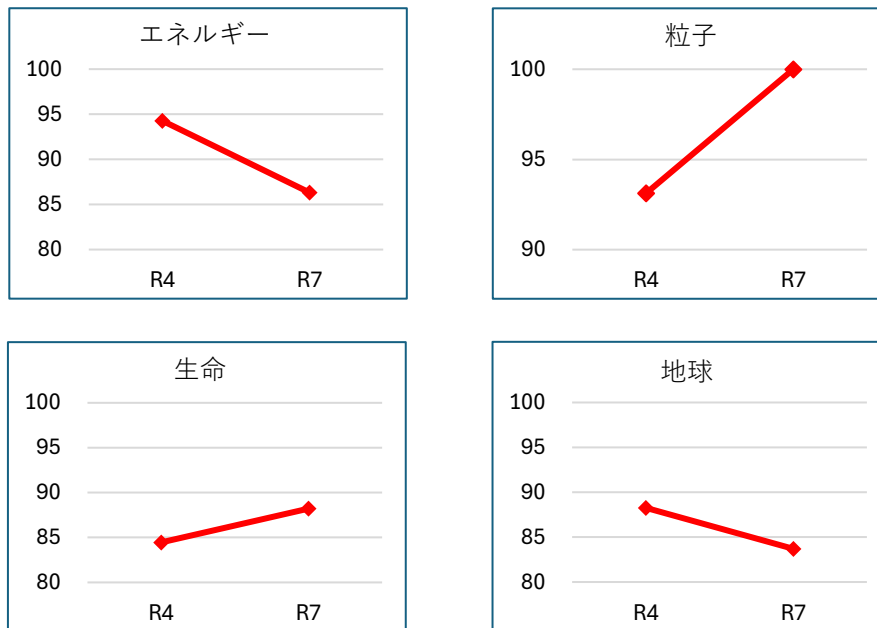


● 領域等、評価の観点、問題形式の平均正答率（市内全生徒に実施した共通問題6問の結果）



● 領域等の経年変化

※全国平均を100とする



● 結果の概要

- ◇平均 I R T スコアでは、全国、全道より低い結果でした。
- ◇市内全生徒に実施した共通問題 6 問における領域別では、「エネルギー」では全国、全道より相当低く、「粒子」では全国と同様、全道とほぼ同様（下位）の結果でした。また、「生命」では全国、全道よりやや低く、「地球」では、全国、全道より低い結果でした。
- ◇市内全生徒に実施した共通問題 6 問における問題形式の正答率では、「選択式」で全国、全道より低く、「短答式」は全国、全道よりやや低い結果でした。また、「記述式」は全国とほぼ同様（上位）、全道とほぼ同様（下位）の結果でした。

● 調査問題の内容

学習指導要領における第 1 分野の「エネルギー」を柱とする領域と「粒子」を柱とする領域、第 2 分野の「生命」を柱とする領域と「地球」を柱とする領域からバランスよく出題することとしています。調査問題作成の枠組みについては、「知識」、「技能」、「分析・解釈」、「構想」、「検討・改善」の視点から整理し、第 2 学年までの内容となっています。

（例）

- ストロー笛をつくり、音について科学的に探究する（「エネルギー」を柱とする領域）
- ドライアイスの中で燃焼するかどうかを科学的に探究する（「粒子」を柱とする領域）
- スケッチの有用性について考える（「生命」を柱とする領域）
- 身近な地域の大地の変化について科学的に探究する（「地球」を柱とする領域）
- 共通問題は 6 問です。

● 成果の見られる問題例

問題番号	問題の概要	出題の趣旨	領域	平均正答率%		
				石狩市	北海道	全国
1 (2)	「理科の実験では、なぜ水道水ではなく精製水を使うのかな？」という疑問を解決するための課題を記述する	身の回りの事象から生じた疑問や見いだした問題を解決するための課題を設定できるかどうかをみる	粒子	56.3	52.0	46.2

● 全国平均と差がある問題例

問題番号	問題の概要	出題の趣旨	領域	平均正答率%		
				石狩市	全国	全国との差
1 (1)	電熱線を利用して水を温めるための電気回路について、直列と並列とで回路全体の抵抗が大きい装置や速く水が温まる装置を選択する	電熱線で水を温める学習場面において、回路の電流・電圧と抵抗や熱量に関する知識及び技能が身に付いているかどうかをみる	エネルギー	44.8	51.9	-7.1
1 (6)	水道水と精製水に関する2人の発表を見て、探究の過程におけるあなたの振り返りを記述する	科学的な探究を通してまとめたものを他者が発表する学習場面において、探究から生じた新たな疑問や身近な生活との関連などに着目した振り返りを表現できるかどうかをみる	粒子	72.6	79.4	-6.8

● 指導の改善

【問題番号1 (1) エネルギー】

- 電圧・電流・抵抗と発生する熱量との関係について、授業で行われる観察、実験等と関連付けて捉えることが大切です。
- ・ 指導に当たっては、これまで授業で行われた観察、実験を想起したり、これまで学習した知識を活用したりして、発生する熱量と直列回路・並列回路における合成抵抗とを関連付けて概念的な理解を深める学習場面を設定することが考えられます。その際、本設問のように、電熱線で水道水を温めて蒸留し、精製水を製造しているなど、身近な生活と関連をもたせながら、生徒の興味・関心を向上させることが大切です。

【問題番号1 (6) 粒子】

- 自然の事物・現象を主体的に探究する活動を促す上で、探究の過程を振り返って新たな疑問をもち、探究を深めるようにすることが大切です。
- ・ 指導に当たっては、例えば、授業の終わりに探究の過程を振り返り、新たな疑問をタブレット端末やワークシート等に記録する学習場面を設定することが考えられます。その際、生徒の多様な疑問を受け入れ、生徒が主体的に探究を深めるように助言することが大切です。

● 理科に関する意識調査（児童質問調査項目60～70、理1より）

質問内容		肯定的な回答%		全国との差%
		石狩市	全国	
60	理科の勉強は得意ですか	49.1	50.7	-1.6
61	理科の勉強は好きですか	70.8	63.8	7.0
62	理科の授業内容はよく分かりますか	69.1	71.4	-2.3
63	理科の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思いますか	63.1	63.4	-0.3
64	将来、理科や科学技術に関係する職業に就きたと思いますか	17.9	21.7	-3.8
65	理科の授業で学習した知識を普段の生活の中で活用できていますか	51.6	54.7	-3.1
66	理科の授業で学習した考え方を普段の生活の中で活用できていますか	50.7	50.7	0.0
67	自然の中や日常生活、理科の授業において、理科に関する疑問を持ったり問題を見いだしたりしていますか	57.4	56.2	1.2
68	理科の授業では、観察や実験をよく行っていますか	91.0	85.8	5.2
69	理科の授業では、自分の予想（仮説）をもとに観察や実験の計画を立てていますか	75.0	70.2	4.8
70	理科の授業で、課題について観察や実験をして調べていく中で、自分や友達の学びが深まったか、あるいは、新たに調べたいことが見つかったか、振り返っていますか	71.7	68.4	3.3
理1	共通問題 6 問中2問あった記述式問題の無解答率の平均	12.8	9.0	3.8